



## 校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ③7

令和3年3月5日（金）

### 「<sup>いただき</sup>頂から見えるものは？」

3月1日（月）は春の訪れを実感させる晴天の下、高校第72回卒業証書授与式でした。

新型コロナウイルス禍という困難を見事に乗り越えた72回生のみなさんらしい、厳粛かつ心温まる、心に残る卒業証書授与式となりました。

72回生のみなさんにとって2年生の終わりからのこの一年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。それぞれの進路を決める大事な年でありながら、3年生初めの3ヶ月近い臨時休校、大学入試制度の度々の大きな変更をはじめ、受験や学習面で常に大きな不安に<sup>さいな</sup>苛まれた一年であったと思います。また、最上級生としてリーダーシップを発揮し、それぞれの学校行事等の更なる進化をめざし、仲間と共に考え、企画したことを形にすることができないもどかしさや、今までは当たり前でできていたことが今まで通りにできない悔しさや寂しさ、辛さを「これでもか」というくらい味あわされたことと思います。そんな誰もが経験したことのない困難な状況にあって、72回生のみなさんは精神的なきつさに負けることなく、一つ一つのことを前向きにとらえ、その中で最善最良のものをめざして、柔軟かつ前向きに、落ち着いて取り組み、学習面でも部活動等でも例年にも増して立派な成果を上げてくれました。それはまさに「ピンチをチャンスに！」「災い転じて福と為す」を見事に体現したものでした。「コロナ後」の世界とわが国の社会や経済には、私たちの創造を遥かに超える大きな変化や厳しい事態が起こるであろうことは想像に難くありません。しかし、この1年の72回生のみなさんの経験とその姿は、社会や経済がどんな状況になろうとも、その状況を逞しく前向きに切り拓き、「フロントランナー」として、「コロナ後」の新たな社会を築いていってくれる存在であることを確信させるものでした。あらためて、72回生の希望に満ちた洋々たる前途を祝します。

これまでも小欄で度々紹介してきた3年2組の梅野 倅子さんが2月21日（日）のU20選抜競歩大会で、またまた優勝を遂げてくれました。梅野さんにとって、今回の優勝は全国レベルの大会での今年度3回目の優勝になります。その梅野さんが、レース後に記者からの「次の目標は何ですか？」とい

う質問に、堂々と「オリンピックに出場して、日本にメダルを持ち帰る事です。」と答えています。目標として、「オリンピックに出場したい。オリンピック選手になりたい。」と答える高校生はいるでしょうが、目標を問われて「日本にメダルを持ち帰る事です。」とまで答えた高校生を私は知りません！もちろん、彼女の努力の賜物<sup>たまもの</sup>である素晴らしい実績とその自信から出た言葉だと思いますが、この答を記者に向かって臆することなく堂々と答えた梅野さんの姿に改めて感心させられました。スーパースターと言われる存在になった人の多くは、若い時に、他人<sup>ひと</sup>からは大きすぎると思われる（場合によっては大言壮語ととられるような）目標を堂々と口に出しているものです。梅野さんと記者とのこの受け答えに、彼女もそんなビッグな存在に成長を遂げる片鱗<sup>へんりん</sup>を見たような気がしました。

梅野さんは卒業しましたが、大学進学後も競技生活を続けます。これからも引き続き宗高・宗中みんなまで応援していきたいと思います。

卒業式の式辞でもふれましたが、みなさんの大先輩であり、文化功労者である本校14回卒業の九州大学高等教育院特別主幹教授・新海 征治 先生が、本校の「創立百周年記念誌」に「・・・自分の将来を見据える時には、誰もが差し当たり目の前に見える山、とりわけ高い山を目指すことになるでしょう。

その山に登ってみると、眼前にはもっと高く、もっと美しい山が聳<sup>そび</sup>えているでしょう。この繰り返しが人を成長させ、人生を豊かにしてくれるものと私は考えています。みなさんが、ひたむきに、弛む<sup>たゆ</sup>ことなく、努力することでそれぞれの目の前にある『山』に一歩ずつ登り、その頂に立ち、そこで初めて目にする次なる美しく聳える「山」を目指して、歩みを続けてくれることを心から願っています。」という一文を寄せてあります。

今日紹介した梅野さんも、彼女の目の前にある、記録や大会での勝利といった一つ一つの「山」を一歩ずつ登り、その頂に立って初めて目にする事ができる「もっと高く、もっと美しい山」に向かって歩みを続けているのだと思います。

私たちも大先輩である新海 征治 先生や梅野 倅子 先輩にならい、それぞれの「自分の」目の前の「山」に一歩ずつ登り、その頂に立って初めて見える次なる「もっと高く、もっと美しい山」に向かって歩みを進めていきたいと思います。

校長 深瀬 信也